

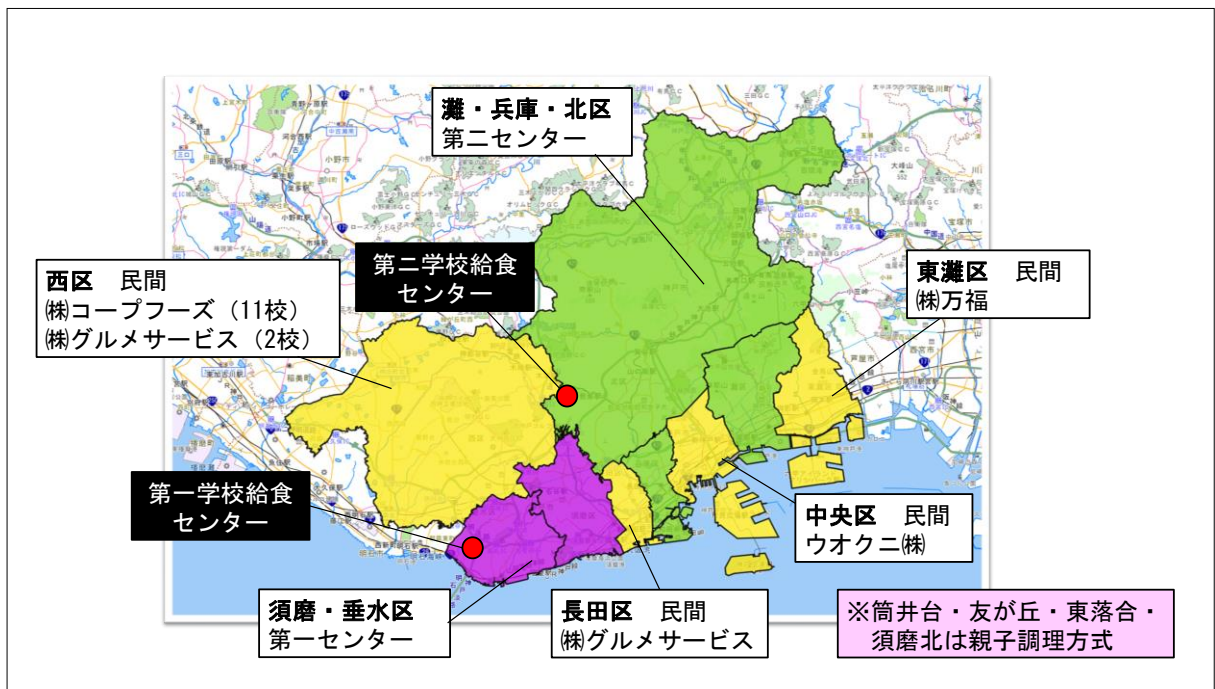
中学校給食の全員喫食実施に向けた取り組み

1. 調理体制確保に向けた考え方

- 「中学校給食の全員喫食制への移行に向けた基本方針」（令和3年9月）に基づき、実現可能性や費用対効果、効率性等の観点を踏まえ、給食センター方式と民間調理施設方式を組み合わせることを基本とし、親子調理方式を補完的に実施することで、全員喫食制に必要な調理体制（約 37,000 食）を確保する。

2. 全員喫食の実施スケジュール

(1) 全市の給食提供体制



(2) 実施スケジュール

(生徒数は令和5年5月現在)

	開始年月	対象	提供方式
第1期：10校 〔令和6年度2学期〕	6年9月	中央区6校 (生徒数2,131人)	民間調理施設方式 ・ウオクニ(株)
	6年10月	中央区1校 須磨区3校 (生徒数1,140人)	親子調理方式
第2期：19校 〔令和6年度3学期〕	7年1月	須磨区8校 垂水区11校 (生徒数8,371人)	給食センター方式 ・第一学校給食センター
第3期：19校 〔令和7年度1学期〕	7年4月	長田区6校 西区13校 (生徒数7,939人)	民間調理施設方式 ・(株) グルメサービス ・(株) コープフーズ

	開始年月	対象	提供方式
第4期：33校 〔令和7年度3学期〕	8年1月	東灘区7校 (生徒数4,291人)	民間調理施設方式 ・(株)万福
		灘区5校 兵庫区5校 北区16校 (生徒数9,972人)	給食センター方式 ・第二学校給食センター

※八多学園は令和5年4月から先行実施

※親子調理方式対象校：筒井台（中央区）、友が丘・東落合・須磨北（須磨区）

※第二学校給食センターについては、垂水区内の7小学校に給食提供を行っている「神戸市立垂水学校給食共同調理場」の機能を集約する。（令和8年4月より提供開始予定）

3. 全員喫食実施時の給食の内容

(1) 提供方法

- ・いずれの方式においても保温食缶を活用し、小学校と同様に、温かく量の調節にも対応できる給食を提供

(2) 献立等

- ・中学生に必要な栄養バランスとなるよう、教育委員会が献立を作成
- ・(一財)神戸市学校給食会が一括して食材を調達
- ・献立は主食及び副食3品
- ・主食は米飯を基本とし、週に1回程度パンを提供予定
- ・牛乳は「無し」を選択することが可能

(3) 食物アレルギーへの対応

- ・小学校と同様に「卵除去食」を提供



<現在の中学校給食>



<全員喫食制移行後の中学校給食>

4. その他

(1) 給食時間の確保

- ・全員喫食実施時には食缶での提供となり配膳が必要となるため、十分な給食時間の確保に向けた取り組みを進める。

(2) 中学校における食育の推進

- ・給食時間をはじめ、教育活動全体を通じて食育を推進していく。